

7 農林水産物の輸出促進について

(1) 基本的な考え方

近年、中国、台湾など東アジア諸国では、著しい経済成長に伴い高額所得者層が増加し、高品質な日本製品に対する需要が高まっており、我が国では、農林水産物についても輸出促進のための施策の充実を図ることとしております。

本県としても、市場開拓を進めながら新たなブランド確立に取り組むため、農林水産ニッポンブランド輸出促進都道府県協議会や県海外事務所等との連携のもと、「攻め」の姿勢に立って県産農林水産物の輸出を積極的に推進する必要があります。

このため県では、「いわて農林水産物輸出促進協議会」を設立し、農林水産物の輸出に関する情報収集や調査及び分析、県産農林水産物の輸出促進方策の検討等を進めながら、県産農林水産物輸出の機運醸成に取り組んでおります。

【県産農林水産物輸出のねらい】

国内より有利な条件での販売促進。

例：贈答向けりんごの有利販売等

国内需給バランスの調節（国内単価の暴落防止等）

例：りんどうの最需要期（盆、彼岸）後の国内単価の確保。

海外で評価を得ることによる国内ブランド力の向上

(2) 現状（輸出実績）

台湾が平成 14 年に WTO に加盟したことを契機に、県産りんごの試験輸出に取り組んでおります。

りんどうは、国内一の産地ですが、需要期以降の販売戦略が課題だったことから、新たな市場としてオランダへの試験輸出に取り組んでおります。

水産物は、中国(乾鮑、秋さけ等)や韓国(ホヤ、スケトウダラ等)に輸出されております。

いずれの品目も、その大半は県外流通業者や商社などを通じて輸出されております。

県産農林水産物の輸出実績

品目名	輸出国	輸出数量・金額				備考
		H14 年	H15 年	H16 年	H17 年	
りんご	台湾	28 t 7 百万円	68 t 12 百万円	89 t 21 百万円	126 t 28 百万円	青森県 (H15 実績): 16 千トン
りんどう (切花)	オランダ	110 千本 11 百万円	240 千本 15 百万円	290 千本 19 百万円	422 千本 28 百万円	安代町 (H14~) 西和賀農協 が F A J を通じて試験輸出 (H17)
秋さけ	中国等	-	-	700~1,000 t	-	道漁連 (H15 実績): 14 千トン
乾あわび	香港	-	-	約 25 t 20 億円	-	貿易統計から推定
マボヤ (養殖)	韓国	-	-	数百 t	-	韓国のホヤ減産を受け H16 年 に急増
スケトウ ダラ	韓国	-	-	数百 t	-	三陸の豊漁と韓国の白身魚不 足を受け H16 年に急増
米	台湾	-	-	-	2.7 t 1.2 百万円	

(3) 平成17年度における県産農林水産物の輸出促進に向けた取組み

ア いわて農林水産物輸出促進協議会の開催

生産者団体、流通業者、岩手県産(株) ジェトロ等(26団体)で構成する「いわて農林水産物輸出促進協議会」を平成16年5月31日に設置。農林水産物の輸出に関する情報収集や調査及び分析、県産農林水産物の輸出促進方策等を検討しています。

イ 東アジアへの輸出促進

中国、台湾、韓国それぞれの状況に応じた輸出促進に向けた取組みを進めています。

中国

海外マーケット情報収集・分析

県大連経済事務所と連携し、中国における農林水産物の輸出動向や流通事情、流通業者の動向などに関する情報を継続的に収集・分析。

大連経済交流ミッションの派遣(5月20日~25日)

岩手県大連経済事務所の開所式典(5月23日)に併せて大連経済交流ミッション(食品・物流コース)を派遣。大連市を中心とした地域経済、食品産業の実態等を調査(参加者38名)。

第5回中国大連国際漁業博覧会への出展(6月8~11日、大連星海会展中心)

岩手県青年水産加工協議会(6社)が、水産加工品25品目(秋鮭スモーク、乾アワビ、乾ナマコ、ワカメ加工品等)を出展。商談件数は135件。

いわて食品フェア in 大連の開催(10月18日、フラマホテル大連)

大連市内のホテル及びレストラン等外食産業関係者、デパート、量販店、食品輸入卸売業者等を対象に、加工食品、清酒等の試食・試飲や本県の食品の料理提案を開催(中国側参加者160名)。

本県から10社(水産加工、酒造会社、菓子会社等)が参加し、34品目(冷凍水産物及び同加工品、レトルト食品、海藻類、日本酒、菓子類、加工米飯、りんごジュース等)を出展。

日中料理提案では、大船渡港から試験輸出した「マサバ、混みサバ(マサバ、ゴマサバの混合)、サンマ、秋サケ」を使用し、岩手県(株)まるしち 新沼専務)及び大連市(フラマホテルシェフ)の両シェフがその国・地域らしさのある料理に調理。

<参考：大連商談会(10月17日、フラマホテル大連)>

食品フェアの前日に、宮城県と合同による大連商談会が開催されました。

日本側参加企業数は18社・団体(岩手県：15社、宮城県3社)、中国側参加企業数は89社で、延べマッチング数は約160回。

大船渡港発冷凍水産物中国輸出試験の概要

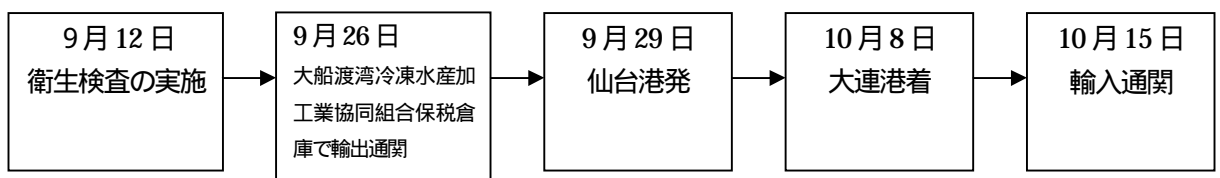
いわて食品フェア in 大連に合わせ、大船渡港から試験的に冷凍水産物を中国大連市に輸出し、本格輸出に向けて、輸送中の温度管理やチェーン・トレーサビリティの実証試験、水産物の輸出にかかる各種手続きの確認、定期航路開設に向けた輸送経費の試算、大連でのマサバ利用実態の把握を行いました

実施主体：岩手県、大船渡市、大船渡湾冷凍水産加工業協同組合、(社)大日本水産会

冷凍コンテナの概要：20フィート、リーファー(冷凍)コンテナ1TEU

輸送品：真さば(約2t)、混みさば(約6t)、サンマ(45kg)、秋サケ(40kg)

大連フラマホテルまで搬入の流れ



中国バイヤーの招聘（2月14日～18日）

中国バイヤー（4社）を招聘し、県内産地・企業の視察、個別商談会、日本料理提案、日中貿易促進セミナーを開催し、輸出取引の成立を促進するとともに、今後の輸出有望品目や商品開発等についての情報交換を行いました。

台湾

輸出業者の招聘（5月30日～31日）

県産米の台湾輸出について取引調整を進めている輸出業者を県内に招聘し、今後の商談を円滑に進めるための情報交換を行いました。

フード台北2005への出展（6月16日～19日、台北ワールド・トレード・センター）

県内の農水産団体・協議会（4社）が、米、りんごジュース、乾しいたけ、長いも、水産加工品が出展。商談件数は132件。

新光三越での岩手県物産フェア（9月30日～10月14日）

新光三越新義店の新館オープンに併せて、岩手県の農林水産物やその加工品の展示販売を行った（主催：新光三越デパート、メフレ株式会社等の民間会社）。

台湾バイヤーの招聘（10月11～12日、岩手県内）

いわて純情りんごの販路拡大に一環として、取引調整の進んでいる台湾バイヤー（2名）を県内に招聘し、県内関係者との意見交換会と商談会を開催しました。

また、12月に台北市内のデパートで開催を予定している「いわてフェア」や、輸出有望品目（ながいも等）について情報交換を行いました。

りんご、りんどうの鮮度保持調査（9月、12月）

りんどうの鮮度保持調査を、台湾・新光三越での岩手県物産フェアへの試験輸出と併せて実施（9月～10月）、りんごの鮮度保持調査を、台湾での岩手食品フェアに併せて実施（12月16～18日）。

台湾フェア「岩手食品フェア」の開催（12月17日～23日、新光三越台北天母店）

県産りんごを中心に、県産農林水産物、加工品食品（菓子類・りんごジュース）の販売促進フェアを開催。試食販売、対面販売を通じて県産農林水産物の魅力を紹介するとともに、県産農林水産物を育む本県の自然環境・風土・伝統文化等を一体的に情報発信し、県産農林水産物に対する評価向上を図りました。

韓国

岩手ビジネスフェア in ソウルへの出展（11月2日～5日）

観光経済交流課が主催する物産商談会への出展を促し（本県参加者5社）、本県食品の販路拡大を図りました。

ウ 生産者チャレンジ支援

生産者や流通業者等が取り組む輸出実践に係る活動（見本市への出展、試験輸出、販促フェアの開催、包装デザインの改良等）を支援し、意欲ある生産者等が自立して輸出できるよう支援しました。

団体名等	輸出国・地域	品目
全国農業協同組合連合会岩手県本部	台湾	りんご
いわて純情米需要拡大推進協議会	台湾	米
新岩手農業協同組合	台湾	ながいも
岩手県中部生鮮食品流通事業協同組合	台湾、韓国	水産加工品
岩手県青年水産加工協議会	中国	水産加工品

エ 輸出促進に向けた条件整備

セミナーの開催

ジェトロ盛岡貿易情報センターと連携し、貿易実務に加え、農林水産物輸出で重要となる植物検疫、輸出品目規制等、貿易に必要な知識・ノウハウの習得を図るため、セミナーを開催した。

いわて農林水産物輸出セミナー（農産物）

日 時：平成 17 年 8 月 2 日（火）

場 所：岩手県農業研究センター

内 容：講演 「中国・韓国のりんご生産流通事情について」
講演 「青果物の G A P 対応について」

国際標準水産トレーサビリティセミナー（水産物）

日 時：平成 18 年 2 月 2 日（木） 13：30～16：30

場 所：浄土ヶ浜パークホテル

内 容：講演 「わが国におけるトレーサビリティへの取組」
講演 「EU 及びノルウェーにおける水産トレーサビリティの現状と」
講演 「トレーサビリティにおける EU の動きと AQuAM の今後の活動」

中国輸出に係る説明会

大連商談会説明会と併せて、輸出手続きや水産物衛生検査制度について説明。

日 時：平成 18 年 8 月 8 日（月）、9 日（火） 13：30～16：00

場 所：岩手県水産技術センター（8 日） 岩手県水産会館（9 日）

内 容：「大連商談会及び大連フェアの開催について」
「中国への輸出に係る手続き及び留意点について」
「対中国輸出水産食品の取扱について」
「中国の水産物の安全基準及び検査について」

長期品質保持・高鮮度保持技術の開発

農業・水産両技術センターが連携し、輸出に伴う品質劣化トラブルの回避や高鮮度輸出による高付加価値化、容器改良による低コスト化のため生鮮品の長期品質保持技術の開発を行う。

農業研究センター：りんごやりんどうの高鮮度保持技術開発

水産技術センター：活ホタテや活ホヤの長期品質保持技術の開発

オ 参考データ

県産食品等の輸出状況

	11年	12年	13年	14年	15年	16年
食品計	367,220	437,667	569,523	654,903	890,227	673,028
水産物	209,098	223,360	294,200	266,231	214,500	207,355
冷凍魚	12,958	30,360	144,200	167,000	89,000	20,000
その他水産物	196,140	193,000	150,000	99,231	125,500	187,355
米菓	94,993	31,373	68,171	127,798	139,356	2,840
清酒	15,349	14,798	7,192	6,517	23,461	80,468
加工食品	0	162,206	122,800	135,000	121,829	69,575
その他食料品	47,780	5,930	77,160	119,357	391,081	312,790
木材・家具	3,840	24,260	653	1,078	6,830	1,046
合計	371,060	461,927	570,176	655,981	897,057	674,074

出所：ジェット口盛岡貿易情報センター

東北地域の農林水産物等の輸出状況

県名	品目名	輸出国	輸出数量・金額			
			H13年	H14年	H15年	H16年
青森県	りんご	台湾、香港、シンガポール、米国、タイ他	6,393 t 約16億円	11,845 t 32億円	15,658 t 45億円	10,771 t 35億円
	ながいも	台湾、米国他	-	306 t 141百万円	124 t 43百万円	225 t 71百万円
	ホタテ	フランス、オーストラリア、ニュージーランド、米国、韓国、香港他	2,468 t 2,253百万円	1,424 t 1,692百万円	1,796 t 1,942百万円	888 t 964百万円
秋田県	日本酒	米国、シンガポール、フランス、イギリス、マレーシア他	-	30kl -	52kl -	303kl -
山形県	りんご	台湾、タイ、香港、サウジアラビア、中国	-	6 t -	65 t -	123 t -
	ラ・フランス	台湾、香港	-	0.6 t	0.5 t	1 t
福島県	なし（豊水）	米国（ハワイ）	-	16 t 3百万円	16 t 4百万円	16 t 4百万円
	薬用人参	香港	-	6.4 t 103百万円	-	-

資料：東北農政局取りまとめ資料